

第 56 回 SSN 勉強会

自然観察と子どもに伝えたい季節の行事・夏

高橋 節 (松戸市)

日 時：2012 年 7 月 17 日 (火) 10 時～15 時

場 所：午前 千葉市立横戸小学校学校林 午後 同校研修室

講 師：午前 山田益弘(会員) 午後 宮川榮子(会員)

参加者：内島、大木(潤)、大山、小川、落合、片岡、勝野、河添、佐口、佐藤(一)、
荘子、末永、高橋(節)、田中(玉)、晝間、松尾、松川、御舩、宮川、
八木(千)、山田(益) 21 名 非会員 1 名 合計 22 名

前回に続き今年度のテーマ「自然観察と子どもたちに伝えたい行事」の夏の部として、学校林をもつ千葉市立横戸小学校で、四年生の観察会を学校のご厚意で参観させて頂きました。いつも関わっている指導員以外に何人もの指導員があとに続き、雰囲気の違いの中で、とても生き生きと子ども達は観察していました。学校林がある学校？ 学校林というのはどんなものなのか見て見たいという気持ちから参加しました。学校を建てるにあたって地主さんから林も一緒にとの希望で校庭の隣に林があります。林にはシラカシ・コナラ・ケヤキ・クリ・クルミ・トチノキ・スモモ・カシワ・シデ・サクラ・エノキ・ビワ等の樹木に下草が程よい高さに刈り込まれていました。観察するにも防犯上にも丁度よい高さに見えました。また子どもの手の届く所の枝がおろされていなく、すぐ触ることができて、とても良かったです。ササを刈ったら、もっと他の植物にも出合えるのではなんて、欲張った見方をしてしまいました。またヤマユリが咲いている姿を久しぶりに身近で見ることができました。子ども達は林の中の木を一つ、自分の観察する木として名札を付け、年間を通して観察していました。担当指導員が名札の付いている木の所で、その名札の子どもに春との違いや、木の葉や実のなる木では今の実の様子を触れたりしながら質問したり、「気温と地面の温度差はどうして」とゆっくり質疑応答しているのが印象的でした。子ども達もしっかり考えて答えていて、時間に余裕があることがこんなにも観察することに大切だったことに気づかされました。また答えを出すのではなく、子ども達に疑問をたくさん残して、わからないことを図鑑などで確認してもらおう。これは私達もやっていますが、実際に子ども達が調べて確認しているのかがわかりません。その点横戸小は一年生から六年生まで全学年で観察会が行われていますので、どこかでわかる機会があるのではないのでしょうか。目の前をオオシオカラ・ナツアカネ・アオスジアゲハ・ナガサキアゲハ等が飛び交う学校林があるなんて素敵ですね。私の卒業した小学校は、50メートル走を、校庭を斜めに走りました。今はあって当たり前この環境がいつの日か、恵まれた環境だったことに気づいてくれるといいですね。

午後からは小学校の研修室で宮川さんによる季節の行事(夏)のお話がありました。日本の行事は旧暦で行われていること、お盆のお話、七夕の話等聞いている私が、忙しさから行事とは無縁の生活をしていただけか、反省することしきりでした。最後に皆で七夕飾りを作り、ササに飾り付けて願いをこめました。

